



JST だより #018

B_{ayon}

有事に肅々と行動するバイヨン高校/附属中学校の生徒たち

2025 年 7 月に引き続き、12 月にも隣国・タイ軍によるカンボジア国境攻撃が勃発し、カンボジア領内のプレア・ヴィヘア寺院(2008 年世界遺産登録)をはじめ、クメール王朝時代の遺跡が次々と破壊され、カンボジア領土内にタイ国旗が立てられるなど、国境エリア 800km にもおよぶ領土侵略が行われました。

タイの軍事行動はカンボジア領土内の民家や学校も標的とされたため、国境に接する州の住民は国内各地への避難を余儀なくされ、シェムリアップ州だけでも 13~15 万人が避難生活を送っていました。

12 月 27 日に暫定的な停戦合意が成されましたが(カンボジア領土は侵略状態のまま)、それまでの約 3 週間というものの、バイヨン高校/附属中学校の教員や生徒たちの生活はがらりと変わり、避難民の支援、募金活動、戦死者の葬列参加、戦死した軍人家族への慰問が中心となる生活を送っていました。

今回は、有事に直面し、協力し合うカンボジアの一般庶民の姿を、バイヨン高校/附属中学校の生徒の活動を通してお届けします。



◆募金活動◆

タイの攻撃から逃れてきた避難民のために、シェムリアップ市内では、いたるところで地元高校生が街頭に立ち、募金活動を行っていました。

バイヨン高校/附属中学校でも、赤十字青年団に所属する生徒が各村を回り、募金を集めていました。

また彼らは、バイヨン高校の各教室を回り、生徒にも募金を呼びかけました。生徒たちは、親からもらった朝食代・昼食代を削って寄付金をねん出し、募金箱に入れていました。



一方、シェムリアップ市内やアンコール遺跡は、普段と変わらず観光客で賑わい、住民も危険を全く感じることなく、普段通りの生活を送っていました。

特に、市内中心部のパブストリートやナイトマーケット及びその周辺は、夕方以降になると、いつものようにネオンや照明によってきらびやかに照らされ、外国人観光客であふれかえっていました。

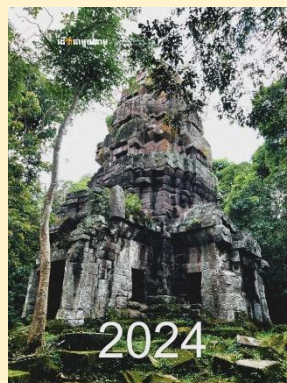
SNS や NEWS で流れる(危険)情報とそのような現実とのギャップが、逆に違和感を覚えるほどでした。

◆避難家庭の生徒受け入れ◆

避難民は主に、州が準備した避難所(寺院など)に避難していましたが、親戚の家に身を寄せる避難家族もありました。バイヨン高校/附属中学校周辺の村にも数世帯の家族が避難し、5人の中高校生が、一時的にバイヨン高校/附属中学校に編入して授業を受けていました。



タイ軍の砲弾により変わり果てたカンボジアの遺跡。(左2枚; プレア・ヴィヘア寺院、右; プラサート・クロバイ寺院)



2024

2025

◆犠牲者家庭への慰問◆

バイヨン高校/附属中学校エリアは貧しい家庭が多いため、一家の大黒柱が職業軍人となり、紛争地域の最前線に送り込まれるケースも多々見られました。そのような中、村に訃報が届くようになりました。

バイヨン高校の赤十字青年団によって集められた募金は、そのような家族を失った家庭に高校生自らが直接訪問し、届けられました。ルー校長によると、3週間の間に10軒ほどの慰問を行い、その際に届けられた物資や香典は、1軒につき200～250ドルだったとのことです。

また、残念なことに、バイヨン高校9年生(中学3年生)の女子生徒の父親も今回の国境紛争で犠牲になりました。



◆葬儀参列◆

カンボジアでは、もともと、地域住民の葬儀に地元の小中高校生が学校単位で駆け出され、見送りの葬列に参列する慣習があります。

12月は、バイヨン高校/附属中学校の生徒たちは何度も葬儀に参列することとなりました。



国境紛争で犠牲になった兵士の葬儀に参列するバイヨン高校/附属中学校の生徒たち。(右下写真:火葬のための櫓)

2022 年のバイオン高校卒業第 1 期生に引き続き、2025 年の卒業第 4 期生の中にも、カンボジア全国一斉高校卒業試験で最高ランクのランク A の成績をおさめた生徒がいました。成績発表直後、ランク A と B の 7 人に集まってもらい、今後の進路などについてインタビューを行いました。

質問事項

- 1) 卒業試験の成績
- 2) 決定した進路
- 3) 学費、奨学金の有無
- 4) 本来、目指したかった進路
- 5) あきらめた理由
- 6) 将来就きたい職業



ルー校長

① <サム・サツ>男

- 1) ランク A (理系コース)
- 2) シェムリアップの私立 BBU 大学、IT 関連学部
- 3) 780ドル/年だが、4年間無料奨学金を受領
- 4) プノンペン大学又はプノンペン工科大学
- 5) プノンペンでの生活費が用意できないため
- 6) データ解析技術者

② <チャン・チイ・ソムナー>男

- 1) ランク B (理系コース)
- 2) シェムリアップの私立 BBU 大学、IT 関連学部
- 3) 780ドル/年のうち、奨学金 35%受領
- 4) UC カンボジア大学又はアンコール大学でもよかった。
- 5) —
- 6) IT 企業に就職したい。

③ <クアン・リカー>女

- 1) ランク B (文系コース)
- 2) シェムリアップの私立 CUS 大学、法学部
- 3) 授業料(1500ドル/年)は4年間無料。要事務費 230ドル/年。
- 4) プノンペン大学
- 5) プノンペンでの生活費が用意できないため
- 6) 弁護士

④ <キア・ソクティア>女

- 1) ランク B (文系コース)
- 2) 私立 Univ. of サウスアジア大学、行政学部
- 3) 授業料は 700ドル/年だが、2 年間半額。
- 4) プノンペン大学又は行政大学(プノンペン)
- 5) 奨学金が受領できなかったため。
- 6) 国家公務員

⑤ <クーン・ナリー>女

- 1) ランク B (文系コース)
- 2) 私立 Univ. of サウスアジア大学、クメール語
- 3) 授業料は 700ドル/年だが、2 年間半額。
- 4) BBU 大学
- 5) 奨学金が受領できなかったため。
- 6) クメール語の先生

⑥ <ナン・ソキー>女

- 1) ランク B (文系コース)
- 2) 私立 Univ. of サウスアジア大学、英語
- 3) 授業料は 700ドル/年だが、2 年間半額。
- 4) プノンペン大学
- 5) 奨学金が受領できなかったため。
- 6) 英語の先生

⑦ <チョイ・スレイトツ>女

- 1) ランク B (文系コース)
- 2) 私立 Univ. of サウスアジア大学、会計
- 3) 授業料は 700ドル/年だが、2 年間半額。
- 4) プノンペン大学
- 5) 奨学金が受領できなかったため。
- 6) ホテルの経理

バイオン高校第4期卒業生の卒業試験結果一

合格率は、全国平均(公立・私立合わせて)が 84%だったのに対して、バイオン高校は 95.5%でした。

高校卒業試験結果 (2025年8月)

ランク	可否	人数	%
A	合格	1	0.8
B	合格	6	4.5
C	合格	27	20.5
D	合格	60	45.5
E	合格	32	24.2
F	不合格	6	4.5
受験生人数 (人)		132人	100%

バイヨン寺院ナーガ・シンハ彫像および欄干修復プロジェクト ～修復報告書完成のお知らせ～



修復報告書は右の QR コードからダウンロードいただけます。

また、JST のホームページからご覧いただけます。(JST 公式サイト→「これまでの活動」→「JST の遺跡保護活動」→「遺跡修復活動」からもダウンロードいただけます。



ご報告が遅くなりましたが、2012 年から 2020 年にかけて実施された「バイヨン寺院ナーガ欄干・シンハ彫像修復プロジェクト」の修復報告書が、2024 年 11 月に完成しました！

本プロジェクトは、世界遺産アンコール遺跡群の中心をなすバイヨン寺院外回廊において、ナーガ欄干およびシンハ彫像を対象に行われた修復事業です。多くの皆さまからのご支援のもと、約 8 年にわたる修復活動を無事に終えることができました。

修復報告書には、

- ・どの部分に、どのような修復が行われたのか
- ・どのような方針・工程・材料が用いられたのか

といった内容が、図面や写真とともに詳しく記録されています。

遺跡は半永久的にメンテナンスを続けていく必要があります。そのため、こうした修復記録は、20 年後、50 年後に再び修復に携わる人々への大切なメッセージとなります。

また近年、カンボジア政府主導による遺跡修復事業も精力的に進められています。本報告書が、今後の修復活動の参考資料として広く活用されることを願い、カンボジア政府機関であるアンコール遺跡保全機構 (APSARA National Authority) および日本ユネスコ協会連盟へ提出しました。

遺跡の修復報告書は、普段は目にすることがないと思いますが、修復のことだけでなく、バイヨン寺院におけるこれまでの修復のあゆみや、JST が行ってきた人材育成・技能員育成の取り組みについても紹介しています。ぜひ一度ご覧いただくと嬉しいです。

(プロジェクト担当：下田 麻里子)



当プロジェクトで育ったカンボジア人スタッフは、現在も JASA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム) でバリバリと活躍しております！ぜひバイヨンに会いに来てください！

修復報告書の主な内容

- I. ご挨拶
- II. はじめに
- III. 地域の人々と共に歩遺跡修復保存
- IV. JASA とバイヨン寺院と修復の 30 年
- V. 日本ユネスコ協会連盟のカンボジアにおける世界遺産活動
- VI. 日本ユネスコ協会連盟とカンボジアのあゆみ

1. 事業概要

- 1.1 事業概要
- 1.2 事業体制

2. 既往修復

2.1 EFEO による 20 世紀初頭の外回廊および欄干における修復

2.2 既往修復後と本事業開始前との状況比較

3. 修復前の事前調査

- 3.1 バイヨン寺院の概要
- 3.2 バイヨン寺院のナーガ欄干およびライオン彫像
- 3.3 ジャヤヴァルマン VII 世後の欄干の再利用について
- 3.4 修復前事前調査

4. 修復基本方針と方法の策定

- 4.1 修復の基本方針
- 4.2 修復工事の工程
- 4.3 各修復工程に関する詳細

5. バイヨン外回廊の欄干と彫像の修復工事

- 5.1 修復工事全体の概要と成果
- 5.2 各フェーズの修復作業内容
- 5.3 T64 での堆積土砂クリアランス

6. 技能員育成、次世代人材育成活動

- 6.1 次世代の技能員育成活動
- 6.2 文化遺産教育としての社会見学会

資料 I 各エリアの修復内容レポート

資料 II 欄干の修復前後記録図面



4.2 Restoration Work Process

修復工事の工程

One of the objectives of this project is to return the restoration site to its original state. To achieve this, it is necessary to understand the original state of the site and the restoration work process.

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

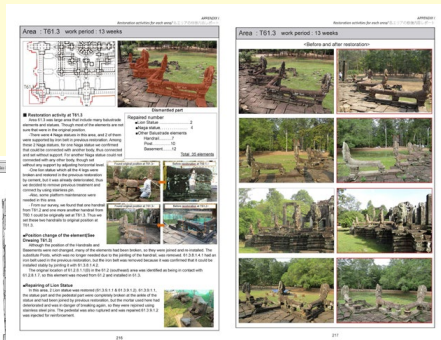
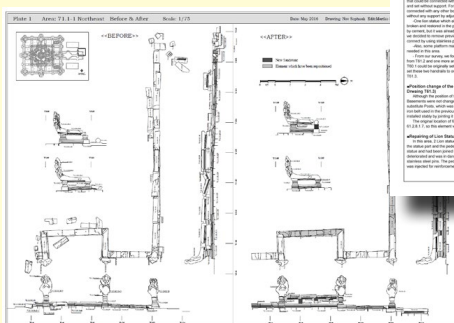
本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

本事業は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されています。その目的は、カンボジア政府と日本国政府との共同事業として実施されていることです。

↑どのような方針、工程、材料で修復されたのか、ということが書かれています。

↓修復前後の図面によって、入れ替えたり、散乱石材からオリジナルの位置を見つけれられた部材なども示されています。



↑各エリアごとに、解体・修理した範囲や部材の場所を示し、修復前と後で、どのように改善されたかが記録されています。